

## はやちう通信 No.13 最終号

2015年4月21日に産声を上げた「はやちう通信」ですが、今回で最後になります。なかなか学校のことを話してくれない思春期の子どもをもつ保護者の方々に学校行事や授業の様子、また、子育てのワンポイント・アドバイスなどを発信するツールとしてスタートしました。どこまで続けられるかわからなかったのですが、たくさんの方々からの応援や励ましの言葉などをいただきながら、結果的に5年間で98回、発行することができました。(^^)/



### 【卒業おめでとうございます！】

卒業生の保護者の皆さま！本当におめでとうございます。中学校の卒業式は、保護者にとって「義務教育の終了」を意味します。確認ですが、国民の三大義務は、『教育の義務』『勤労の義務』『納税の義務』です。

私たち国民は、子供たちに『教育を受けさせる義務』を負っています。その小学校6年間、中学校3年間で終わり、大きな義務を果たしました。どうか、9年間頑張っていたご自分を褒め称えてください。(。)



### 【ピンチをチャンスに！】

新型コロナウイルスの蔓延で、学校が休校になり、大切な「中学校卒業式」も中止になってしまいました。世界には悲観的なニュースばかりが流れています。(。)

その中で、私たちは情報に押し流されそうになります。デマに振り回され、ティッシュを買い漁ったりします。しかし、こういう時こそ「冷静に」なることが大切です。「こんな時だからできることは何だろう？」と視点を変えると、「できること」がたくさんあることに気づきます。ピンチをチャンスに変えましょう！



### 【私も卒業します！】

今月末日付けで、私も横浜隼人を卒業します。「国際語科→普通科進学コース→特進コース→特別選抜コース→中学校」と移り、本校の歴史の中で、唯一「隼人のすべて」を経験し、また、国語科主任、特別選抜コース主任、中学教頭と、隼人での教師生活のほとんどは責任との戦いでした。横浜隼人での25年間は、次から次へと難題に挑戦するような日々でしたが、みなさまのおかげで、特に中学校での5年間はとても充実していました。中学の先生方も、最後まで一緒に頑張って成長してくれたので、安心して後を任せられます。来年度からは他校に移籍するとともに、教師を目指す大学生の教育も行っていくつもりです。本来ならば、皆さまに直接ご挨拶したいのですが、この状況下なので失礼させていただきます。在校生のみんなに最後に何を話そうかとずっと悩みました。顔を合わせず別れることが心残りではありません。



みなさま本当にありがとうございました。これからもお元気でお過ごしください。<< >>